

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(16年5月分)

(財)日本木材総合情報センター
TEL:03-3816-5595 FAX:3816-5062

1. 調査実施期間 平成16年 4月20日 ~5月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、FAXによりアンケート調査票を送受することにより実施した。

5月分の回答企業数は35社、回収率は29.9%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight.D.I.

		16/5月	6月	7月
仕入動向	国産材	20.4	9.6	9.6
	外材	19.4	10.0	11.7
販売動向	国産材	18.5	10.0	3.8
	外材	12.5	0.0	1.6
在庫動向	国産材	19.2	14.0	14.0
	外材	16.7	17.2	6.3

仕入状況判断は、国産材、外材ともマイナス基調である。
販売状況判断は外材が7月に若干のプラスに転じている。
在庫状況判断はマイナス基調が続いている。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight.D.I.

品目	16/5月	6月	7月
スギ正角(グリーン)	4.0	6.3	4.2
スギ正角(KD)	2.2	2.3	4.5
ヒノキ正角	2.1	2.2	2.2
ヒノキ土台角	0.0	2.4	4.8
米ツガ正角(現地挽)	35.7	22.5	22.5
米ツガ防腐土台角	9.5	5.0	12.5
米ツガ割物(現地挽)	35.7	22.5	17.5
米マツ平角	27.5	15.8	15.8
北洋アカマツタルキ(現地挽)	27.5	18.4	18.4
ホワイトウッド集成管柱	25.0	14.7	8.8
レッドウッド集成平角	0.0	3.6	3.6
型枠合板(国産)	35.3	15.6	9.4
型枠合板(輸入)	32.4	15.6	9.4
針葉樹合板	41.2	15.6	6.3

国産材はスギ正角(グリーン材)とヒノキ正角がややマイナスとなっている。
一方、外材は全般的にプラス基調である、とりわけ入荷減の米ツガ現地挽き製品のプラス幅が大きい。ホワイトウッド集成材のプラス幅は6、7月と月を追うごとに小さくなっている。

合板は、針葉樹合板を中心にプラス基調が続いているが、プラス幅は縮小傾向にある。

<参考>木材製品の荷動き・価格先行動向調査

(数値は回答に対する割合)

1. 荷動き

単位: %

品 目			16/5月	6月	7月
仕入動向	国産材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	3.7	7.7	7.7
		横ばい	55.6	69.2	69.2
		やや減少	37.0	19.2	19.2
		減少	3.7	3.8	3.8
	外 材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	6.5	13.3	3.3
		横ばい	51.6	63.3	76.7
		やや減少	38.7	13.3	13.3
		減少	3.2	10.0	6.7
販売動向	国産材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	7.4	12.0	11.5
		横ばい	51.9	60.0	73.1
		やや減少	37.0	24.0	11.5
		減少	3.7	4.0	3.8
	外 材	増加	0.0	3.2	3.2
		やや増加	9.4	19.4	12.9
		横ばい	56.3	54.8	71.0
		やや減少	34.4	19.4	9.7
		減少	0.0	3.2	3.2
在庫動向	国産材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	7.7	0.0	4.0
		横ばい	50.0	76.0	68.0
		やや減少	38.5	20.0	24.0
		減少	3.8	4.0	4.0
	外 材	増加	0.0	3.1	0.0
		やや増加	9.1	0.0	9.4
		横ばい	54.5	65.6	71.9
		やや減少	30.3	21.9	15.6
		減少	6.1	9.4	3.1

2. 価格動向

品 目			16/5月	6月	7月
スギ正角 (グリーン材) 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0	
	やや上昇	0.0	0.0	0.0	
	横ばい	92.0	87.5	91.7	
	やや下落	8.0	12.5	8.3	
	下落	0.0	0.0	0.0	
スギ正角 (KD材) 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0	
	やや上昇	4.3	9.1	9.1	
	横ばい	95.7	86.4	90.9	
	やや下落	0.0	4.5	0.0	
	下落	0.0	0.0	0.0	
ヒノキ正角 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0	
	やや上昇	0.0	0.0	4.3	
	横ばい	95.8	95.7	95.7	
	やや下落	4.2	4.3	0.0	
	下落	0.0	0.0	0.0	
ヒノキ土台角 12.0×12.0cm ×4m	上昇	0.0	0.0	0.0	
	やや上昇	0.0	0.0	9.5	
	横ばい	100.0	95.2	90.5	
	やや下落	0.0	4.8	0.0	
	下落	0.0	0.0	0.0	

品 目		16/5月	6月	7月
米ツガ正角 (現地挽) 9.0×9.0cm 10.5×10.5cm ×3~4m	上昇	4.8	5.0	10.0
	やや上昇	61.9	35.0	25.0
	横ばい	33.3	60.0	65.0
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米ツガ防腐 土台角	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	19.0	10.0	25.0
	横ばい	81.0	90.0	75.0
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物 (現地挽)	上昇	4.8	10.0	10.0
	やや上昇	61.9	25.0	20.0
	横ばい	33.3	65.0	65.0
	やや下落	0.0	0.0	5.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米マツ平角	上昇	5.0	5.3	5.3
	やや上昇	45.0	21.1	26.3
	横ばい	50.0	73.7	63.2
	やや下落	0.0	0.0	5.3
	下落	0.0	0.0	0.0
北洋アカマツ タルキ (現地挽)	上昇	5.0	5.3	5.3
	やや上昇	45.0	26.3	31.6
	横ばい	50.0	68.4	57.9
	やや下落	0.0	0.0	5.3
	下落	0.0	0.0	0.0
ホワイトウッド 集成管柱 (5層国内産)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	50.0	29.4	23.5
	横ばい	50.0	70.6	70.6
	やや下落	0.0	0.0	5.9
	下落	0.0	0.0	0.0
レッドウッド 集成平角	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	7.1	7.1
	横ばい	100.0	92.9	92.9
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
型枠用合板 (国産品)	上昇	11.8	12.5	6.3
	やや上昇	47.1	12.5	12.5
	横ばい	41.2	68.8	75.0
	やや下落	0.0	6.3	6.3
	下落	0.0	0.0	0.0
型枠用合板 (輸入品)	上昇	11.8	12.5	6.3
	やや上昇	41.2	12.5	12.5
	横ばい	47.1	68.8	75.0
	やや下落	0.0	6.3	6.3
	下落	0.0	0.0	0.0
針葉樹 構造用合板	上昇	11.8	12.5	6.3
	やや上昇	58.8	12.5	6.3
	横ばい	29.4	68.8	81.3
	やや下落	0.0	6.3	6.3
	下落	0.0	0.0	0.0

<コメントより>

米材現地挽き針葉樹は入荷がほとんど無い状態で、特に米マツは内地挽きに頼らざるを得ない。(東海:問屋)

米材一般材は問屋売りがコストに届かず、非常に厳しい状況になっている。(東京:問屋)

米マツ平角の仕入、販売価格とも上昇(東京:問屋)

4月は前半が悪く、後半やや持ち直したものの連休を前にタルミが出てきたようだ(東京:問屋)

インドネシア(メルクシ松)フィンガージョイント材の入荷難4、価格上昇から中国産馬尾松フィンガージョイント材の人気復活(東京:問屋)

初めチョロチョロ中パツパ 後、暴騰せず欠品になる可能性多し。但し米材・欧州材のみ、国産材はカヤの外。(東京:問屋)

為替の乱高下から仕入れがしづらい。販売は徹底した当用買いから価格は動きづらく外材は当面強保合気配。(東京:問屋)

産地高だが消費者は冷静、問屋の商い細かく小口化。口銭率よくなり価格転嫁できない。(東京:問屋)

4月は期待したものの荷動きは良くなかった。仕事も一部で決まり始めており、5月後半から6月には動き始めるものと思う(東京:小売)

木材産出国や工場のいわゆる川上サイドでは価格面で大変強気ですが、川下サイドでは仕事の確保が先決。(東京:小売)

リフォーム仕事ばかりで構造材に動きがない。(東京:小売)